


Hewlett Packard
Enterprise

HPE マルチベンダー サービス

保守コスト削減だけじゃない。
メーカーサポート終了の延命も。
HPE マルチベンダーサービスに乗り換えませんか？





保守期限切れ製品の延命や 保守コスト削減、さらに ITスタッフのリソースを有効活用

要件に合わせてシステムを構成する場合、複数ベンダー製品を組み合わせるマルチベンダー型システムが一般的です。しかしベンダーごとに保守サービスの窓口が異なるため、保守契約の管理やサポート窓口とのやり取りに大きな負担がかかります。さらに保守費用もかさみ、将来的なIT投資への影響も無視できません。

マルチベンダー環境において、多くのIT管理者からは

- 保守の手間やコストを削減したい…
- ベンダーの特別延長保守が高い…
- システム更改まで保守を延長したい…

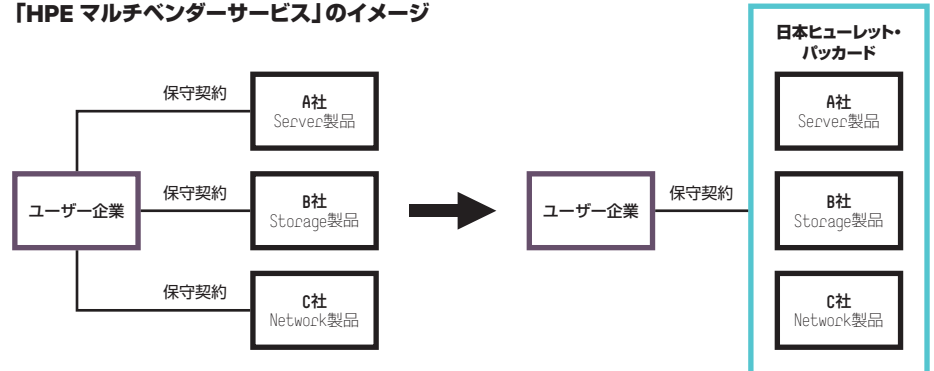
といった声が少なくありませんでした。

こうした課題に解決するサービスとして登場したのが「HPE マルチベンダーサービス」です。

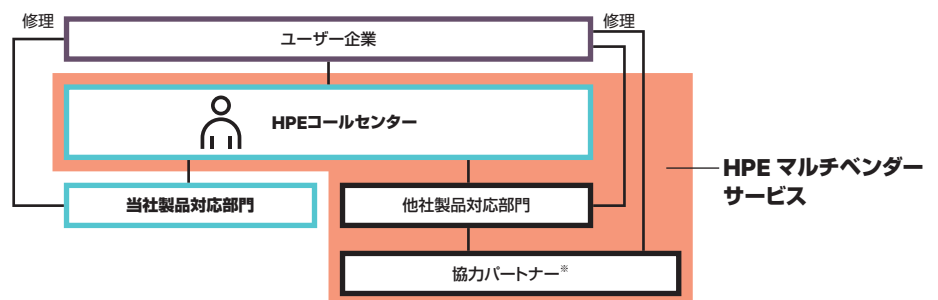
すべての製品に関する問い合わせを HPEコールセンターに一本化

通常、サーバーやストレージなどのハードウェア製品は、導入時にメーカーやベンダーと保守契約を締結することがほとんど。そのため、機器によっては保守契約の内容や更新時期が異なり、契約管理が煩雑になります。また障害対応のコールセンターもベンダーごとに異なるため、IT管理者の負担が大きくなりがちです。「HPE マルチベンダーサービス」は、こうした保守の煩わしさを解消するため、さまざまなハードウェアの保守サービスを一本化して提供します。当社がこれまで積み上げてきた実績をもとに、当社以外の製品を含むお客様のIT環境を包括的に保守サポートし、またメーカーEOSL (End Of Service Life) 後でも保守を延長する体制を構築。日々の障害対応やEOSLに対する課題などの複数のベンダーとの調整からは解放され、障害窓口も統合することが可能です。

「HPE マルチベンダーサービス」のイメージ



すべての製品に関する問い合わせは窓口をHPEコールセンターに一本化できる



*製品、地域により、協力パートナーが当社の他社製品対応部門と連携して修理の対応をします。

EOSL後も必要な機器を 長期間安心して利用

「HPE マルチベンダーサービス」を利用するメリットのひとつとしてEOSL到来機器の延命があります。メーカーサポートが終了した製品の保守サービスを提供するには、交換用機器部材の安定的な調達や供給が欠かせません。

当社ではグローバルベンダーとしての強みを活かし、巨大なパーツ市場が確立されているアメリカを中心に調達ルートを確認。幅広いメーカーのEOSL製品に対応しています。契約期間は1年以上で、それ以上のニーズに対しては期間分の交換パーツ調達の目処が立てば長期の契約も可能です。またメーカーサポート終了後の未使用機器については、保守が切れた時点まで遡ることなく、その時点から契約できる点も本サービスならではの特長となっています。

サポート対象機器メーカー

Server製品	Storage製品	Network製品
<ul style="list-style-type: none">• IBM• Oracle• DELL• 富士通• 日立• NEC(Express5800)	<ul style="list-style-type: none">• EMC^{※1}• NetApp^{※2}• IBM• Oracle(SUN)• DELL• 富士通• 日立	<ul style="list-style-type: none">• Cisco(Switch/Router)

※1 機種により(DMX等)オプションでリモート通報サービスを付加可能です。

※2 NetApp OEM機(IBM Nシリーズ、富士通 ETERNUSなど)はご相談ください。

※ 上記に記載がない場合でも保守可能な場合がありますので、当社担当営業にご相談ください。

EOSL前に切り替えることで コストを大幅に削減

もちろん、EOSL到来前でもハードウェア保守を「HPE マルチベンダーサービス」に切り替えることで、保守コスト削減効果が期待できます。特にマルチベンダー環境において、各メーカーの純正ハードウェア保守費用が重なり、かなり高額になるケースも少なくありません。こうした企業では、大幅なコストダウンを実現することも可能です。

例えば、設計等に使用するシステム(IBMやSunのサーバー、EMCストレージなど)のハードウェア保守に年間約1,600万円を投じていた国内製造業A社は「HPE マルチベンダーサービス」に切り替えたことで、約800万円程度にまで保守費用を圧縮することに成功しました。また会計システム(Sunのサーバーやストレージ、Ciscoのネットワーク機器など)のEOSL到来を控え、最低3年間のシステム延命利用を検討していた国内大手小売業のB社。「HPE マルチベンダーサービス」導入により、各メーカーの延長保守費用の合計に比べて4割以下のコストに抑えることができました。

国内製造業A社

年間 **800**万円
コスト削減

国内大手小売業B社

3年間で **6,000**万円以上
コスト削減

ご提供できるサービスレベル

24時間365日4時間対応	24時間365日受付、故障部位特定後4時間を目標にお客様を訪問
標準営業日4時間対応	平日 8:45~17:30受付、故障部位特定後4時間を目標にお客様を訪問
標準営業日翌営業日対応	平日 8:45~17:30受付、翌営業日にお客様を訪問

製品/エリア毎のご提供できるサービスレベル(4時間応答)の目安

	東京	大阪	札幌	仙台	名古屋	福岡	その他
DELL Server	●	●	●	●	●	●	×
IBM x86Server	●	●	●	●	●	●	×
Oracle Solaris Server	●	●	○	○	○	○	×
EMC	●	●	○	○	○	○	×
Cisco	●	●	○	○	○	○	×
上記以外	●	●	×	×	×	×	×

●…… 4時間応答可能 ○…… 一部製品4時間応答可能 ×…… 4時間応答未対応

※構成、モデルにより対応可否がございます。詳細は担当営業にご確認ください。

ご検討にあたり、ご確認いただく点

1. ハードウェア保守のみのサービスです

製品の機能を正常な状態に戻すために故障部位の特定およびオンサイトでの交換修理をおこないます。

2. ファームウェア(メディア)はお客様にてご用意ください

本サービスではファームウェアのご提供はいたしておりません。

3. オリジナルベンダーがサポートする構成で正常動作している事が前提です

保守開始時に構成情報を取得させていただき、エラーの有無を確認いたします。

4. 契約期間は原則1年以上となります

複数年契約(複数年パーツ保証)も可能です。特別なご要望につきましてはご相談ください。

5. ご注文からサービス開始まで約2ヶ月間の準備期間をいただきます

お急ぎの場合は是非ご相談ください。可能な限り期間短縮に努めます。

6. ドル為替レートにより価格が変動いたします

月を超えてのご検討の場合には為替の動向により再御見積となる場合もございます。

「HPE マルチベンダーサービス」は、保守費用削減、
メーカーEOSL機器の保守延長、障害コール窓口一本化、
保守契約管理の簡素化をお考えのお客様に最適なサービスです。



日本ヒューレット・パッカード
公式ソーシャルメディア

facebook.com/HPEJapan
twitter.com/HPEJapan
youtube.com/HPEJapan


Hewlett Packard
Enterprise

HPE マルチベンダーサービスに関する情報は、当社担当営業までご連絡ください。

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
記載事項は2016年3月現在のものです。
本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。
© Copyright 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1



JCS13756-01